

防災啓発 地震に備えて

平成17年4月、三重県は平成16年に実施した、東海地震、東南海・南海地震等の被害想定調査を発表しました。

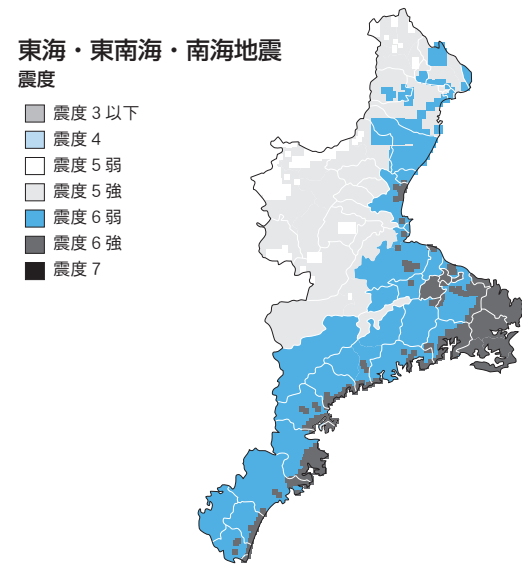
調査の結果、県内には広く甚大な被害の発生が想定されており地域の地震防災対策を一層充実させることとされています。

大規模災害は防災関係機関だけでは十分な対応はできないと考えられます。被害を最小限に食い止めるため、地域や家庭でよく話し合い、日ごろの備えや知識を身につけ、いつ起こるともわからない地震に備えましょう。

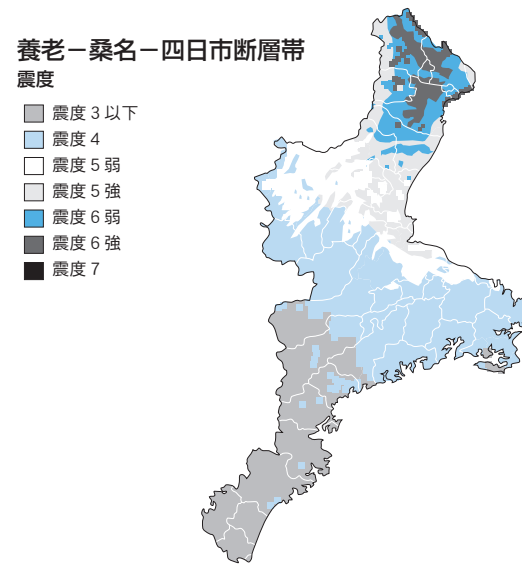


新潟中越地震時の様子

東海・東南海・南海地震同時発生による震度分布



養老-桑名-四日市断層帯による震度分布



いなべ市の地震被害想定状況

東海・東南海・南海地震が同時発生した場合の被害想定状況は以下のとおりです。

震度	揺れ		斜面崩壊		液状化	罹災者数
	全壊棟数	半壊棟数	全壊棟数	半壊棟数		
5強	73棟	276棟	37棟	86棟	37棟	31,453人

養老-桑名-四日市断層帯による被害想定状況は以下のとおりです。

震度	揺れ		斜面崩壊		液状化	罹災者数
	全壊棟数	半壊棟数	全壊棟数	半壊棟数		
6弱	97棟	406棟	64棟	150棟	121棟	41,149人

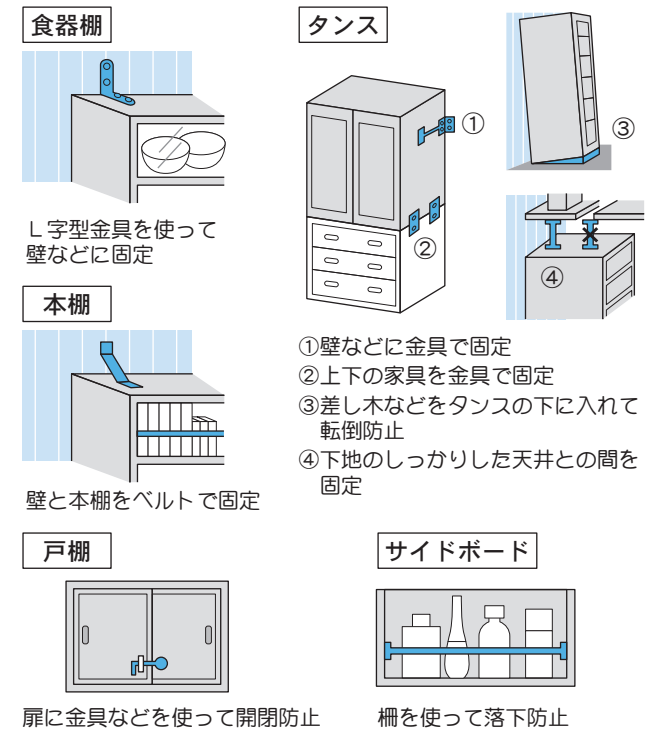
液状化とは…

地震の震動によって地下水と地中の砂が混ざり合いヨーグルト状になる現象です。液状化現象が起こると、建物の基礎が崩れ家が傾いたりします。ひどい場合は、地中に建物などが吸い込まれたりします。

地震対策をしっかりと行い、安心・安全な暮らしを確保しましょう

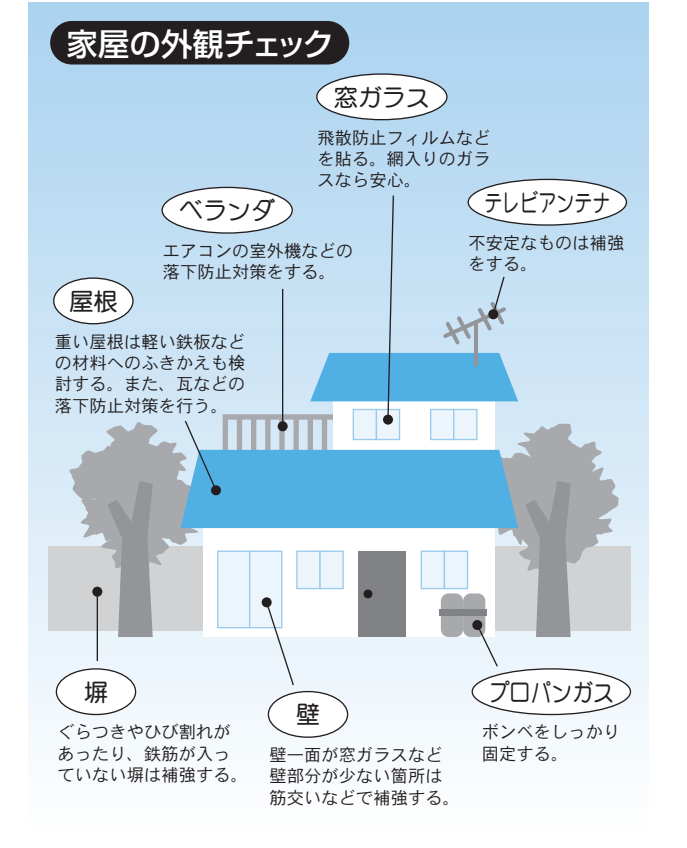
◎家具をしっかりと固定しておく

阪神・淡路大震災では、家具などの転倒や落下で死亡したり、負傷したりした方が続出しました。家具の形状に合わせ、転倒防止金具で柱や壁を固定しましょう。



◎家屋の耐震対策をしっかりと行う

家屋の耐震診断・耐震補強などの耐震対策をしましたか？阪神・淡路大震災では家屋の倒壊等により多くの人命が奪われ、新潟県中越地震でも建物が全半壊するなどの被害を受けました。このような被害を防ぐためにも、早めに家の耐震診断・耐震補強をしっかりとっておきましょう。



◎家族会議をしましょう

いざという時のために家族の役割分担や避難場所などを確認しておき、家族でよく話し合い防災意識を高めましょう。はじめの一步は家族です。



◎地域や隣同士で助けあいましょう

大災害は、地域の人々の協力がなければ乗り切れません。また、地域の協力体制が被害を最小限に抑えることにつながります。



問い合わせ先……員弁庁舎 総務課
☎74-5801 FAX74-5800



新潟中越地震時の様子